

● 授業科目の
内容紹介

司書教諭に関する科目

授 業 科 目 名	単 位 数		学 科	年 次	担 当 教 員
	必 修	選 択			
学校図書館とメディアの構成	2		日英 音	1	大場博幸

I 主題と到達目標

学校図書館メディアの構成に関する理解及び実務能力の育成を図る。

II 授業の概要と計画

授業の1/3はメディアの種類、選択方法についての講義である。このときの資料は講師が準備して配布する。授業の残り2/3は、指定した教科書を用い、メディアの配架方法、目録作成の方法を学ぶ。このとき、コンピュータを用いる。

項 目	内 容
01. 概要	
02. 学校図書館メディアの種類	: 書籍、映像資料、録音資料など
03. 資料選択の論理	: 教育上必要な資料とそうでないもの
04. 資料選択の情報源	: 児童・生徒向けの書籍目録
05. 目録法と書架の整理	: カードとコンピュータ
06. 目録規則①	: タイトルと著者名
07. 目録規則②	: 版、出版事項、形態、シリーズ事項、標準番号
08. 目録規則③	: 注記
09. 目録規則④	: 目録演習
10. 主題表現①	: 件名
11. 主題表現②	: 分類番号
12. 主題表現③	: 分類番号
13. 主題演習④	: 主題表現演習
14. 総合演習問題	: 演習
15. 総合演習問題	: 演習

III 使用テキスト・教材等

志保田務・高鷲忠美『資料組織法 第6版』第一法規, 2007.

IV 評価方法

単位取得基準 60/100点以上

1. 目録演習課題 50%
2. 主題演習課題 50%

※ 受講状況: 出席数・受講態度は単位取得が危ぶまれる場合に考慮する。

V その他(参考文献、履修上の注意事項等)

コンピュータ教室を利用する。アカウントと保存媒体を準備すること。

授 業 科 目 名	単 位 数		学 科	年 次	担 当 教 員
	必修	選択			
読書と豊かな人間性	2		日英音	1・2	大場博幸

I 主題と目標

学校図書館が中心となる児童・生徒向けの読書サービスについて解説する。個々の児童生徒の発達段階を理解するための心理学的知識と、児童生徒の発達段階と好みに合わせた作品を選択できる能力、特に児童生徒と対面する際に必要な技能を獲得することを目指す。

II 授業計画

対面技能と児童書の選択能力を培う。そのため、ブックトークとレビュースリップの作成を行う。特にブックトークについては、講義時間内に練習・発表する機会を作る。授業時間の多くの時間がそのために割かれる。

項 目	内 容
01. 概要	
02. 読書の意義	: 識字能力、思考力、知識の獲得
03. 読書指導の目的と方法	: 教育上の意義、指導法の列挙
04. 発達段階と読書	: 適した資料と指導法
05. 物語の構造	: イニシエーションと現代児童文学
06. 児童文化の媒体	: 漫画やアニメとの距離
07. 家庭・図書館との連携	: 家庭・図書館との連携
08. 読書指導の方法①	: 読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク
09. 読書指導の方法②	: アニマシオン論とその方法 (1)
10. 読書指導の方法③	: アニマシオン論とその方法 (2)
11. 読書指導の方法④	: アニマシオン論とその方法 (3)
12. 読書指導の方法⑤	: アニマシオン論とその方法 (4)
13. 読書指導の方法⑥	: アニマシオン論とその方法 (5)
14. 読書指導の方法⑦	: DI (DirectInstruction) とその方法 (1)
15. 読書指導の方法⑧	: DI (DirectInstruction) とその方法 (2)

III 使用テキスト・教材等

秋田喜代美・庄司一幸編 『本を通して世界と出会う：中高生からの読書コミュニティづくり』北大路書房, 2005.

IV 評価方法

単位取得基準 60/100 点以上

1. 発表 60% ブックトーク 1 回
2. レポート 40% 児童向け作品 4 点のレビュースリップ

※ 受講状況： 出席数・受講態度は単位取得が危ぶまれる場合に考慮する。

V その他（参考文献、履修上の注意事項等）

参考文献 赤星隆子『読書と豊かな人間性』 樹村房, 1999.
M.M.サルト『読書へのアニマシオン』 柏書房, 2001.

授 業 科 目 名	単 位 数		学科	年次	担 当 教 員
	必修	選択			
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2		日英音	2	大場博幸

I 主題と到達目標

学校図書館における多様なメディアの特性と活用方法の理解を図る。

II 授業の概要と計画

新しいメディアの正しく・危険の少ない使用方法について知る。まず、学校教育と著作権の関係について学習する。続いて、掲示板システムの見方、インターネットにおけるマナーに解説する。その後簡単なインターネット検索の方法、HTMLを使ったWebの作成について学習する。

項 目	内 容
01. 概要	
02. 著作権と学校教育①	: 著作権法の主旨
03. 著作権と学校教育②	: 教育活動上の著作物の利用
04. インターネットのマナー①	: アクセスの管理とCookie、フィルタリング
05. インターネットのマナー②	: 個人情報保護
06. 情報検索①	: 基本概念
07. 情報検索②	: 検索式の作成 (論理演算子、トランケーションほか)
08. 情報検索③	: データベースの種類と構造
09. 情報検索④	: 主題表現 (シソーラスを使った検索など)
10. 情報検索⑤	: 検索演習
11. インターネットでの情報発信①	: サーバ管理者と表現者との関係
12. インターネットでの情報発信②	: HTML 作成
13. インターネットでの情報発信③	: HTML 作成
14. インターネットでの情報発信④	: HTML 作成
15. インターネットでの情報発信⑤	: HTML 作成

III 使用テキスト・教材等

無。講義時間中にファイルを適宜配布する。

IV 評価方法

単位取得基準 60/100 点以上

1. 試験 20% (著作権とインターネットのマナーについて・11月中に実施)
2. 検索課題 50% (インターネット検索の課題・4回ほど・講義期間中に提出)
3. HTML 課題 30% (HTMLのタグ操作の課題・1月中に提出)

※ 受講状況: 出席数・受講態度は単位取得が危ぶまれる場合に考慮する。

V その他 (参考文献、履修上の注意事項等)

コンピュータ教室を利用する。保存媒体を準備すること。

